

栃木県教育委員会定例会会議録

令和2(2020)年6月5日(金)、栃木県教育委員会定例会を栃木県庁南別館内教育委員室に招集した。

1 出席者（教育長及び委員）は次のとおりである。

1 番（教育長）	荒川	政利
2 番	鈴木	純美子
3 番	工藤	敬子
4 番	金子	達也
5 番	陣内	雄次郎
6 番	吉澤	慎太郎

2 議事に参与した職員は次のとおりである。

教育次長	北條	俊明
総務課長	伊澤	純一
学校安全課長	佐瀬	学
義務教育課長	柳田	伸二
高校教育課長	吉田	眞樹
特別支援教育室長	松本	美智代
スポーツ振興課長	高橋	貴子
総務主幹	小平	知久

3 午前9時30分、教育長及び委員5名が出席しており、委員会は成立したので、教育長は定例会を開催する旨を告げた。

4 教育長は、本日の会議録署名委員に6番吉澤委員を指名した。

5 教育長は、本日の議案等のうち、第1号議案及び第3号議案については、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項の規定に基づき、会議を非公開で行いたい旨を諮ったところ、全出席者の賛成により非公開とすることに決定した。

6 教育長は、報告を受ける旨を告げた。

7 報告

(1) 令和2(2020)年度6月補正予算案について

教育長から説明を求められ、高校教育課長が説明した。

この報告に関して、出席者から次のような質問や意見等があった。

[委員]

- ・ G I G Aスクール構想の I C T環境整備について、「タブレットの整備」「Wi-Fi環境の整備」「個人アカウントの取得」の3つがなければ、オンライン授業の完全な形にはなっていない。そのため、個人アカウントの児童生徒に対する取得をどのように考えているのか。これをやっていない

と、学校で端末を扱っても、アカウントがバラバラだと、様々なやりとりが必要になってくるので、全県下で児童生徒のアカウントの取得をやっていけないといけないと思う。すでに、広島県、奈良県、神奈川県では、全県下の児童生徒の全アカウントを一斉に取得して、市町の考え方もあるので、使いたいという市町には使えるようにしている。ひとつのロットとして買うので非常に安価ということもあるので、これからの予算組みをどう考えているのかを伺いたい。

- ・ また、ICT環境の使い道について、コロナで学校に行けないという状況下でも使えるほか、不登校の子どもたちや、体が不自由であったり、病気で学校に通えない子どもたちへの支援だったり、使い道をどのように考えているのか、伺いたい。

[事務局]

- ・ 個人アカウントについては、県立学校の場合は全県となるが、学校のネットワーク環境もあるので、いろいろなことを調べながら、最適な環境で使えるように検討を進めている。
- ・ また、使い道については、これまでも例えば、入院中の生徒に対して、授業の中継のようなものもやっている。不登校の生徒のことも含めて、学校によって様々な利用の仕方があるので、使い道について検討しながら、有効に活用させていただきたいと考えている。

[教育長]

- ・ タブレット等を使った方が、児童生徒に非常に興味をもってもらえる教え方などあると思うので、工夫しながら進めてほしい。

[委員]

- ・ コロナ関連からICTが一気に広がっていくなかで、今後の教育や学校をどうしていくかという大きな観点からICTを捉える必要があると思う。栃木県の教育や学校をどうしていくのかという議論がないと、これだけ予算をかけても何も変わらない、となってしまうのではないかと感じている。今はとにかくスピーディーにやらなければいけないということは分かるので、落ち着いた段階で、そういうこともぜひ議論していただきたい。
- ・ もう1点、テクニカルなことだが、大学でも一気にICT化が進み、オンライン授業を行っているが、これから相当、研修が必要となってくる。機材が使えるということもあるが、ICTを使った授業のやり方も含めて、研修が必要。とにかくノウハウがなかったところから、一気に始まったところもあり、試行錯誤しながらやっており、先生方の中には、不安を抱えながら、本当にこれでいいのかと思いながら、行っている先生方もいるだろう。

一方で、私自身も、zoomを使ったオンライン授業を行っているが、途中でつながらなくなってしまうようなトラブルがあって、困ったことが多々あったので、そういう部分の人的フォローをしていただくことも長期的な目線をお願いしたい。

〔教育長〕

- ・ 今回の新型コロナの関係で、先進国のなかで日本がどれだけデジタル化が遅れているかが明らかになり、今回大きく変わる中で、民間企業がドラスティックに変化していくなかで、教育委員会も含めた行政が対処法はそういう時代に合うかたちで子供たちの教育をどう進めていったらよいのかということは、しっかり議論していきたいと思う。
- ・ 研修の話があったが、若い世代はデジタルネイティブ世代というのだと思うが、これに慣れていない世代もたくさん教員としているし、このツールをどのように使いこなせるかが、子供の教育に大きく関わってくると思うので、研修体制というか、丁寧に先生が機械の作動でストレスがたまるようなことがなく、なおかつ、こういう使い方をすると子供たちの関心を引きつけることができる授業のやり方のような研修と、それをサポートする体制を今後しっかりととっていきたい。

〔委員〕

- ・ 今回のタブレット端末の整備台数は15,469台ということで、県立高校の1学年がまかなえるくらいの数かと把握しているが、今後、GIGAスクールでは、1人1台という整備の目標があると思うので、今後、これをさらにどのように進めていくのか、長期的な計画があれば教えてほしい。
また、現在15,469台を導入したとして、今後学校での授業が困難な状況になり、自宅に持ち帰る必要性がでてきた場合、貸し出すことを考えていると思うが、この限られた数を75校にどのように配置をするのかを教えてください。
- ・ 家庭のオンライン環境の中で、モバイルルーターを整備する、家庭にそういった環境がない場合に貸し出すための機器だと思うが、モバイルルーターは具体的にどのような性能なのか。格安だが不安定なものもあるが、しっかりした回線を確認できるルーターというのは別だと思う。地区によって速度が違うので、動画が止まりながらでオンライン授業は難しいなど、心配になったので、どのような機種選定をするのか分かる範囲で教えていただきたい。

〔事務局〕

- ・ 台数は3人に1人ということで配備を考えている。
これまでの従来の授業と、こういったタブレット端末を使って、効果的な授業ができればと考えている。
- ・ 万が一、第二波、第三波ときた場合を考えて、貸し出せる分については、当然そういった環境のある家庭ばかりではないので、学校のなかで、実情に合わせて、貸し出しをしながら、モバイルルーターもネット環境が整っていない生徒に対してある程度使えるようにということで、予算を計上した。
- ・ 地域によって速度が違うのはいろいろなところから聞いているので、こういったメーカーがよいかというのものもあるし、金額の問題もあるので、できるだけ県内全域できちんとした環境で使えるように整備していきたい。

- (2) 令和3(2021)年度栃木県公立学校新規採用教員選考試験の応募状況について教育長から説明を求められ、義務教育課長が説明した。

この報告に関して、出席者から次のような質問や意見等があった。

[委員]

- ・ 今年、小学校の先生の希望は男性が低く、中学校では女性がかかなり低くなったということだが、要因はどのように考えているか。

[事務局]

- ・ 若干変更があるということで、明らかな要因については把握していない。

[委員]

- ・ 感想的なことだが、今年度コロナの影響で民間企業が大変な状況なので、教員志望者が増えるのではないかと考えていたが、かなり減っているのが驚いている。特別選考枠も設けたのに、減っているというのは大変な状況なのではないか。何か対策を考えないといけないのではないかと感じている。

[事務局]

- ・ 3年間連続で100名以上ずつ受験者が減少していたが、今年度は7名の減で、減少幅が狭まっており歯止めがかかったということで、これまでの成果だと思っている。
- ・ 事務局でももう少し増えるのではと期待もあったが、採用試験を受けようと思っても教員免許を持っていないとすぐには受験できないこともあり、急激には増えない要因と考えている。

[教育長]

- ・ 本県はいろいろ改定を行い、下げ止まった中で、他県の状況は分かるか。

[事務局]

- ・ 他県の状況は、茨城県は小学校30名、中学校40名ほど減少している。埼玉県は5パーセント減少しているところからみると、本県は健闘しているのではないかと思う。

[委員]

- ・ 実技試験をあまりやっていないが、コロナの長期化を考えると、来年、今回パスしたのも、英語の実技とか体育など、別室でやってみるとか、モニターするとか、感染防止をしながら、その人の技量をみようという作戦を立てておいた方がよい。
- ・ このままいって、やっぱり今年もだめだったかというのではなく、やはり、本人の技量を確認したいということはあると思うので作戦を立てておいた方がよいという意見である。

[事務局]

- ・ コロナだけでなく、他の感染症もあるので、ICTの整備も進んでいく中、いろいろ絡めながら、対策は練っていききたい。

ただ、試験の内容については、毎年検討しているので、今後も内容を考えていきたい。

- (3) 令和3(2021)年度県立高等学校入学者選抜について
教育長から説明を求められ、高校教育課長が説明した。
この報告に関して、出席者から質問や意見はなかった。

- 8 教育長は、一部順番を入れ替え、審議に移る旨告げた。
- 9 第2号議案 令和3(2021)年度使用栃木県立中学校の教科用図書の採択に係る調査研究について
第2号議案は、審議の結果、原案どおり可決された。
- 10 教育長は、第1号議案及び第3号議案については、先の決定のとおり、会議を非公開で審議する旨を告げた。
- 11 第1号議案 栃木県いじめ問題対策委員会の委員の任命について
第1号議案は、審議の結果、原案どおり可決された。
- 12 第3号議案 栃木県スポーツ推進審議会の委員の任命について
第3号議案は、審議の結果、原案どおり可決された。
- 13 教育長は、以上で本日の会議を終了することを告げ、午前10時18分、閉会した。